

本会議質問から

第4回定例会では、11人の議員が個人質問を行いました。質問順に主な質問事項は次のとおりです。なお、質問の詳細は熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

公明党



鈴木 弘 議員

質問 1

交通系 IC カードの市電先行導入を提案

熊本で JR の IC カードが導入された。もうそろそろ、市電だけでも先行導入してはどうか。

答弁

IC カードの市電への先行導入については、将来のバスへの拡大に対する課題や経費などについて整理し、検討していきたい。



質問 2

幼稚園保育料の独自支援を求める

幼稚園児への就園奨励費助成は、熊本市独自の支援をしてはどうか。

答弁

子育て3法（※2）施行により施設型給付（※3）の幼稚園は公定価格（※4）制度となるため、その際、就園奨励費についても他都市の状況等踏まえ検討。

用語解説

※2 子育て3法
※3 施設型給付
※4 公定価格

子育て環境の充実を図るため、平成24年8月に成立した子ども・子育てに関する3つの法律のこと。利用者か、市町村の確認を受けた認可保育所・幼稚園等を利用した際に支給される給付。政府が物価の統制のために指定した最高限度価格。

共産党



上野 美恵子 議員

質問 1

産文会館は再開し、桜町再開発参加は中止を

耐用年数20年を残す産業文化会館の再開と、100億円以上も税金投入する桜町再開発の大会議場建設中止を要求。

答弁

旧産業文化会館を解体して広場とし、桜町に MICE 施設（※5）を建設することは、桜町・花畑地区の一体的な整備を進めるうえで必要である。

用語解説

※5 MICE 施設

会議、研修のほか、各種のイベントや展示会等の誘致・集客ができる施設

質問 2

安心できる介護保険へ

他都市と比べ高い保険料の引下げ、利用料の減免、待機者3000人のための特別養護老人ホームの増設等を求める。

答弁

一般会計からの繰入による保険料軽減は適当でなく利用料軽減も現行制度で対応。特養は322床を整備し地域密着型サービスも計画。



自民党



落水 清弘 議員

質問 1

市政運営基本の総合計画に危機管理追記を！

来年見直しの総合計画に防災・感染症対策や外国からの攻撃等に対応した総合的な危機管理政策を追記すべき。

答弁

危機管理や防災については重要な観点であると認識しており、中間見直しにあたって、新たに項目立てできればと考えている。

質問 2

子供に大人と同じ自由を与えて良いのか？

新 崎元 教育委員長は、18歳未満の子供達にも大人と同じ人権があると考えるか、それとも何か違いがあるか？

答弁

成長過程の子どもを保護するため、大人の持つ全ての権利を当てはめるべきではなく、年齢制限や特別な措置を加える必要がある。



くまもと未来



大石 浩文 議員

質問 1

加熱する小中学校運動部活動の改善について

練習や試合のあり方を定めたルールを無視し、行き過ぎた指導等が問題となっている現状を早急に改善すべき。

答弁

ルール遵守の個別具体的な指導を校長に行い、子供にとって意義深く魅力ある運動部活動となるよう学校と一体となり努めていく。

質問 2

学校給食運営検討委員会のあり方について

給食費値上げありきの論議ではなく、望ましい給食のあり方について、様々な改善策を検討すべきではないか。

答弁

値上げありきの検討とならないよう、学校給食会のあり方やより良い食材の調達方策の研究など、さらに幅広い議論を行う。



市民連合



東 すみよ 議員

質問 1

職員の人員確保と適正配置について

5区でのサービスを充実するには、適正な職員配置を要する。次期計画では人員確保と適正配置に努めること。

答弁

次期計画では、様々な業務改善を図り、効率的な執行体制に取り組むことで、指定都市にふさわしい質の高い市民サービスに努める。

質問 2

今後の認知症施策の方向性について

高齢化が進む中「老老介護」「認認介護（※6）」の実態を把握し、認知症についての早期発見・早期対策を図ること。

答弁

地域包括支援センターを中心に実態調査し、支援を必要とする高齢者には適切な介護サービス等につなげるよう取り組んでいる。



用語解説

※6 認認介護

認知症の家族を介護している人もまた認知症を患っている状態。

公明党



井本 正広 議員

質問 1

リース（※7）方式による LED 照明の導入を提案

初期費用が抑制され節電とコストダウンを実現できるリース方式による市有施設の LED 化を推進すべき。

答弁

今後、導入計画や設置基準を策定し、原則的に全ての道路照明灯を LED 化する予定。リース方式による導入は、その是非を検討。

質問 2

学校施設における老朽化対策について

学校施設の長寿命化のため、中長期的な老朽化対策を盛り込んだ整備計画を策定すべき。

答弁

現時点では不適格及び危険改築を中心に考えているが、国の最終報告や検討状況を見守りながら、本市現状を踏まえ研究していく。



用語解説

※7 リース

機械などの物品を利用者に代わる別の企業が購入して、利用者に一定期間の契約で有料で貸し出すこと。

自民党



原口 亮志 議員

質問 1

現消防の植木地区のとりあつかいについて

山鹿植木広域消防から植木地区を熊本市消防局に移管する期日をどのように考えているのか。

答弁

平成26年4月までには管轄したいとの本市の考えを、山鹿市及び山鹿植木広域行政事務組合に示しており、精力的に協議を進める。



質問 2

100%地下水で賄う水道料金について

地下水都市、本市水道料金は適正か市民に理解されにくい、経営努力に更に努め安易な値上げに頼るべきでない。

答弁

料金は、収入と支出のバランスを見越し適正に設定している。今後、これまで以上に経営効率化、コスト削減等の経営努力を行う。

くまもと未来



田中 敦朗 議員

質問 1

重症心身障がい児者への支援について

現状を把握分析し、障がいを持つ方、その御家族が安心して暮らせる官民体制を創る計画を策定実行すべき。

答弁

平成26年度の熊本市障がい者プランの中間見直し及び第4期熊本市障がい福祉計画の策定を行う中で、効果的な施策を検討していく。

質問 2

公共施設への太陽光発電設備の導入について

税収増、収入増、大きな経済効果、地域防災体制の強化、環境教育推進が図れる公共施設の屋根貸しをすべき。

答弁

整理すべき課題もあるが、再生可能エネルギーの普及・拡大につながる有効な事業と考えられるので、今後、積極的に検討する。

